

【性質別歳出】

義務的経費のうち、人件費は、職員数の減や、退職手当組合負担金の減などにより前年度に比べ2.0%の減となった。扶助費は、障害者福祉費の増加など社会保障経費の増大に伴い、前年度に比べ2.1%の増となった。

投資的経費のうち、普通建設事業費は、桃沢工芸村の整備に着手したものの、前年度において北幼稚園園舎の整備が終了したことや、都市計画道路下土狩文教線と池田終線の事業費の減少などにより、前年度に比べ15.2%の減となった。

一般行政経費のうち、物件費は、ルミナスストリート整備事業に集中投資したことや、妊婦健診の公費負担の増、小学校への理科支援員の配置などにより前年度に比べ4.3%の増となった。維持補修費の主なものは、塵芥焼却場、道路橋梁、小学校、中学校などである。補助費等は、定額給付金給付事業や子育て応援特別手当交付事業において給付金の給付等を開始したことや、住宅用火災警報器の購入等に助成をしたことなどから、前年度に比べ22.1%の増となった。

その他の経費のうち、積立金は、財政調整基金積立金は増えたものの、スポーツ施設整備基金への積立金を行わなかったことから前年度に比べ30.9%の減となった。投資・出資・貸付金は地方公営企業等金融機構への出資や、勤労者住宅建設資金貸付事業の増などから前年度に比べ1.4%の増となった。繰出金は、後期高齢者医療特別会計への繰出しが始まったことや、介護保険事業特別会計及び国民健康保険事業特別会計への繰出金の増などにより前年度に比べ7.4%の増となった。

一般会計歳出決算状況（性質別）

（単位：千円・％）

区分	平成20年度		平成19年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	4,378,554	33.6	4,401,586	32.0	△23,032	△0.5
人件費	2,228,400	17.1	2,273,698	16.5	△45,298	△2.0
扶助費	1,210,843	9.3	1,185,744	8.6	25,099	2.1
公債費	939,311	7.2	942,144	6.9	△2,833	△0.3
投資的経費	3,212,465	24.6	3,794,585	27.6	△582,120	△15.3
普通建設事業費	3,212,465	24.6	3,790,339	27.6	△577,874	△15.2
補助事業費	—	—	—	—	—	—
単独事業費	3,212,465	24.6	3,790,339	27.6	△577,874	△15.2
災害復旧事業費	—	—	4,246	0.0	△4,246	皆減
一般行政経費	3,386,819	25.9	3,181,606	23.1	205,213	6.5
物件費	2,562,232	19.6	2,456,915	17.8	105,317	4.3
維持補修費	137,068	1.0	161,569	1.2	△24,501	△15.2
補助費等	687,519	5.3	563,122	4.1	124,397	22.1
その他の経費	2,082,646	15.9	2,370,965	17.3	△288,319	△12.2
積立金	826,994	6.3	1,197,301	8.7	△370,307	△30.9
投資・出資・貸付金	79,523	0.6	78,400	0.6	1,123	1.4
繰出金	1,176,129	9.0	1,095,264	8.0	80,865	7.4
合計	13,060,484	100.0	13,748,742	100.0	△688,258	△5.0